



明日へ

学校教育目標

自律:自ら考え、判断し、行動する生徒

尊重:自他を理解し、協働する生徒

創造:健全な精神と豊かな発想で、創意工夫する生徒

学校テーマ

～みんなで創る！ 夢・実現する学校～

全国学力・学習状況調査 標準学力調査〈市学力調査〉

4月17日(木)、『全国学力・学習状況調査(3年:国・数・理・学習状況質問紙)』、『標準学力調査〈市学力調査〉(2年:国・数)(1年:数)』が実施されました。

いずれも文部科学省による調査となり、各学校において、生徒一人ひとりの学力を正しく捉えて、生徒自身が学力等の現在値を知ることと、教師の今後の指導工夫改善の手立てを図る目的があります。

今年度始まって間もない実施でありましたが、どの学年・どの生徒も一生懸命に問題に取り組む姿が見られました。

これまでの文部科学省の考察では、子どもの学力と家庭生活・学習意識の間に一定の相関関係があることが指摘されています。子どもたちの確かな学力向上の推進には、学校や家庭、地域が一体となった取り組み欠かせませんね。

〈3年生〉



〈2年生〉



〈1年生〉



小中連携で防災教育を！

始業式前の4月7日(月)、豊崎中学校区における第1回小中学校教職員合同研修会が豊崎中にて開催されました。

豊崎中学校(屋上:海拔24m)は津波等災害時における一時避難場所に指定されていることから、沖縄大学地域研究所特別

研究員・地域防災マネージャー(内閣府認定)の嘉数淳先生による防災教育講話となりました。講話の内容から印象に残る言葉をいくつかご紹介し



ます。【①「防災」とは、自然と戦うことではなく、死なないために逃げること。②「避難行動」から「生存行動」「人が死なない防災」への転換 ③「防災」に「なんくるないさ(沖縄方言で〈どうにかなるさ〉の意味)」はない。】

昨年の4月3日の台湾東部沖地震からの津波避難警報が発令された際にも、豊崎地区住民が本校へ避難された経緯もあり、豊崎中が災害避難時の重要施設になることから、再度、豊崎小中学校両職員が、『防災教育』を学ぶ良い機会となりました。

※一口メモ

○一時避難場所とは…

津波、火災、洪水などのリスクから命を守るために一時的に緊急避難する場所

○避難所とは…

災害によって自宅に住めなくなった人が一時的に共同生活を送る場所

～私の自己紹介～

こんにちは。豊崎中学校長の大城正篤(まさあつ)と申します。2年目になります。豊見城小、豊見城中(34期生)、豊見城南高校(2期生)出身です。保護者や地域の皆様と一緒に、子どもたちのより良い成長を支えていければと願っています。本校教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

◇学校だより『明日(あす)へ』は、校歌の私の好きなフレーズ“明日へ、明日へ、歩み行く我ら”から引用しています。